大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊 大老連

平成25年　３月号
第656号　毎月１日発行
平成25年（2013年）３月１日
定価30円（送料別）　年間購読料1,100円（送料共）
購読お申し込みは、月刊大老連編集室にご連絡ください。

昭和33年９月19日第三種郵便物認可
〒556－0017
大阪市浪速区湊町１－４－１
ＯＣＡＴビル
発行所　一般社団法人
大阪市老人クラブ連合会
編集室　電　話 06(6635)3227
ＦＡＸ 06(6635)3229

友愛募金運動推進
大老連カラオケ大会 大盛況

800人を集めて初の開催

友愛募金運動推進「大老連カラオケ大会」が、2月1日（金）、正午から大阪市阿倍野区の市立阿倍野区民センター大ホールで、延800人の参加者を集めて、大老連として初めて開催され、出演者の熱唱で会場は大いに盛り上がりました。

今回のカラオケ大会は、老人クラブの会員がカラオケを通じて心とからだの健康を進めるとともに、会員相互の親睦を図り、生活を豊かにする楽しいクラブ活動として生きがいの高揚に寄与することと併せて、今日的な状況の中での友愛活動の重要性に鑑み、友愛活動の一層の推進を図るため、友愛募金運動推進事業として位置づけて実施されました。

当日、正午、大会実行委員長の生駒厚生文化部会長の司会で開会式が始まり、まず、大会会長の中保昌大老連理事長から「カラオケは大きな声で歌うということでは健康づくりに資することはもとより、カラオケをきっかけに老人クラブに入会したといったお話もよくお聞きし、会員の加入促進にもつながる有意義な事業であると考えており、何と言っても、本日のカラオケ大会は会員の親睦を図るということが最も大きな目的ですので、参加者同士の交流、交歓も図りながら、今日一日、大いに楽しんでいただきたい」とあいさつがありました。

次に、大阪市福祉局久保直也高齢者施策部長（河野圭司いきがい課長代読）から「本日のカラオケ大会は大老連として初めての取り組みとお聞きしており、出演者の皆様には日ごろ鍛えたのどを存分に発揮していただくとともに、ご参加の皆様がともに親睦とふれあいの輪を広げていただきますよう期待いたします。また、今後とも地域において様々な活動に取り組まれ、心身とも充実した日々を過ごされますよう祈念いたします」と祝辞がありました。

開会あいさつをする中理事長

多数の参加者で会場は熱気にあふれる

田島久美子さんの歌で会場は大いに盛り上がる

続いて、審査員の紹介、審査基準の説明のあと、各区厚生文化部長の実行委員の皆さんのご協力でいよいよカラオケが開始となり、前半、後半に分かれて、各区から2名ずつの総勢48名（2名欠席）の出演者による熱唱が披露されました。

どの区の出演者もプロの歌手顔負けの歌声で、うっとり聴いたり、一緒に手拍子を打ったり、体が自然とリズムに乗って動いたりで、会場は熱気に包まれ、参加者一同、心温まる楽しいひと時を過ごしました。

審査の時間を利用して、アトラクションとして、歌手田島久美子さんの「絆橋」「おかあさんの唄」やなつかしいヒット曲がメドレーで披露されました。

喜びの入賞者の皆さん

午後3時45分から閉会式を行い、成績発表、表彰のあと、石井好男副理事長から「今日ご出演いただいた皆さん方には、心のこもった歌をご披露いただき厚くお礼を申しあげたいのはもちろんのこと、観客の皆さんもじっくりと歌を聴きながら応援にも力を入れていただき、カラオケを通じて舞台と客席が一体となった楽しい非常に有意義な大会となりましたことを心から感謝いたします」との閉会のあいさつがあり、最後に、福引抽選会を盛大に行い、終始和やかなうちに大会を成功裡に終えました。

なお、出演者のご寄付と当日の来場者の募金による「友愛募金箱」に集まった総額は12万6677円です。

成績は次のとおりです。

優勝＝星加繁子さん（西淀川区）「東京砂漠に咲いた花」▽準優勝＝小薮治子さん（都島区）「女の哀愁」▽3位＝平井恵子さん（阿倍野区）「歩の女房」▽敢闘賞＝木村稔さん（西淀川区）「落葉しぐれ」、大西實さん（天王寺区）「ムカシ」▽特別賞＝北川香里さん（大正区）「花はこべ」

健康づくり推進リーダー養成講座
受講生45名が修了

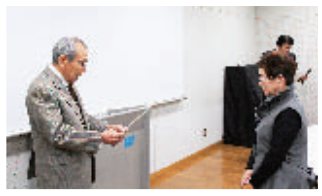
健康づくり推進リーダー養成講座の閉講式が、1月24日午後2時から、大阪市立難波市民学習センターで開かれ、受講生45名が無事に修了し、中保昌理事長から修了証が交付された。

この講座は、高齢者の健康づくりを推進し、老人クラブ活動の活性化を図るため、健康づくりの高度な知識の習得や能力の開発をめざす老人クラブ会員を対象に、その推進役となるリーダーを養成することを目的に平成21年度から実施しているもので、今年度で第4回目となります。各区老連から推薦を受けた会員の皆さんが平成24年11月から平成25年1月にかけて全7回の講座を受講した。

講座の内容としては、今年度は内容もリニューアルして、健康ウォーキング、健康体操、こころの健康づくりなど高齢者の健康づくりにとって基本的な内容ながらもコンパクトな実践的な講座で、参加の皆さん方も熱心に受講されていた姿がとても印象的でした。

中理事長からは「健康づくり活動は老人クラブ活動の大きな柱であり、そのため、各区老連、単位クラブにおいて健康づくり活動のリーダーとなっていただく方の養成が今一番求められており、皆さん方には、地域の老人クラブのリーダーとして大いに力を発揮していただきますよう期待します」との激励の言葉があり、閉講式を和やかなうちに終了した。

健康づくり推進リーダー養成講▶座の修了生の代表に中理事長から修了証が交付された



▼閉講式であいさつする中理事長

随意随想

高齢者虐待を防止するために

大阪市福祉局生活福祉部相談支援担当課長　山本　博章

平成18年4月に「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」が施行され、7年が経過しようとしています。

大阪市では区保健福祉センターと地域包括支援センターを高齢者虐待の相談・通報窓口と位置づけ、高齢者虐待への迅速かつ適切な対応と養護者支援に取組んでいます。地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・保健・医療などの適切なサービスが切れ目なく提供できるよう支援する役割を担っており、現在、大阪市内には65か所設置されています。

大阪市における高齢者虐待の相談・通報件数と、その内で虐待と判断した件数の推移は表―1のとおり増加を続けています。

相談・通報件数や虐待と判断した件数が増加を続けていることは、虐待が増えているとも考えられますが、関係者や市民の皆さんの虐待防止意識が高まり、今まで通報されなかったものが通報されるようになって、より多くの高齢者が救済されるようになったという側面もあると考えています。

【高齢者虐待とは】

広い意味で高齢者虐待とは、「高齢者が他者からの不適切な扱いにより権利利益を侵害される状態や生命、生活が損なわれる状態に置かれること」と捉えていますが、法律では「身体的虐待」「介護・世話の放棄・放任」「心理的虐待」「経済的虐待」「性的虐待」の5つの類型に分けており、虐待に該当する具体的な行為は表―2のとおりです。

高齢者虐待は介護疲れ、家族の長年の人間関係、経済状況など様々な要因が複雑にからみあって発生します。

・介護疲れでイライラしてつい手が出てしまった。（身体的虐待）

・親父には子供のころよく殴られた。仕返しだ。（身体的虐待）

・認知症で何度も同じことを言うので最近は無視している。（心理的虐待）

・頑張ってリハビリしてほしい気持ちが強すぎて怒鳴ってしまった。（心理的虐待）

・夫の介護なんかしません。長年苦労させられた仕返しです。（ネグレクト）

複数の種類の虐待が同時に起こっていることもあります。例えば、高齢者の年金で生活している息子が、高齢者に必要な医療や介護サービスを受けさせず（ネグレクト）、医療費や介護費を自分の酒代や遊興費に充てているようなケースが時々あります。

また、虐待を受けた人の約7割に認知症の症状が見られます。認知症になった現実を家族が受け入れられなかったり、対応方法が分からず虐待につながることがあります。

【虐待かもしれないと思ったら…】

一般的に高齢者虐待は外からは見えにくいところで起こるため、家族や養護者が地域で孤立したまま、重篤な事態に陥ることがあります。対応が遅れないように、この法律では届出制度とともに通報制度を取り入れています。

法律の第7条では、虐待を受けたと思われる高齢者を発見した者は、「その高齢者の生命、身体に重大な危険が生じている場合は、速やかに市町村に通報しなければならない。」と通報義務を「それ以外の場合、通報するように努めなければならない。」と努力義務を定めています。

「隣の家から怒鳴り声が聞こえる。虐待かもしれないけど、もし間違っていたらご近所で気まずいので通報はやめておこう。」とか「怒鳴っている家族も介護でとても苦労している。通報したら可哀そう。」とか思っているうちに、だんだんエスカレートして重大な結果を招くかもしれません。

虐待対応では、法律の名称にも示されているように、虐待していると思われる時点で通報を受ける養護者を支援することで虐待を防止します。処罰したり、責任追及したりすることはありません。介護保険サービスの量を増やしたり内容を見直したり、状況によっては老人ホーム入所していただいたりして、養護者の介護疲れやストレスを軽減し、高齢者も安心安全な生活が得られることになります。

虐待かもしれないと思われる時点で通報をお願いします。通報を受けて事実確認を行った結果、虐待ではなかった場合もあります。

（平成23年度は通報件数720件のうち虐待と判断したのは430件で290件は虐待ではありませんでした。）

虐待は虐待している人もされている人も自覚がない場合があります。また、虐待を受けている人の中には、養護者をかばおうとしたり、虐待されていることを知られたら恥ずかしいという思いから、虐待の事実を訴えない場合もあります。しかし、客観的に高齢者の権利利益が侵害されている場合は、虐待の疑いがあると思って対応することが必要です。

虐待かもしれないと思ったり、地域で気にかかる方がおられたら、まずは区保健福祉センターもしくは地域包括支援センターへご相談ください。また、土日祝日（24時間）や平日夜間（17時～翌9時）は「休日夜間福祉電話相談」（☎4392―8181）で、高齢者のさまざまな電話相談に応じています。

【高齢者虐待を防止するために】

虐待を未然に防止し、早期に発見し、早期に対応するには、行政や関係機関だけではなく、地域の人々が協力し地域ぐるみで高齢者や介護する家族を見守り支援していくことが大切です。高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※施設等（介護保険施設、事業所等）における高齢者虐待の通報窓口は、福祉局介護保険課指定・指導グループ（☎06―6241―6310）です。

（表―1）

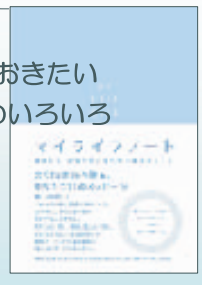
年　度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
相談通報件数	392件	416件	491件	461件	534件	720件
虐待と判断した件数	329件	297件	355件	340件	376件	430件

（表―2）

身体的虐待	平手打ちをする、つねる、殴る、蹴る、無理やり食事を口にいれる、やけど・打撲させるなど
心理的虐待	怒鳴る、悪口を言う、排泄の失敗などを人前で話して恥をかかせる、高齢者が話しかけているのに意図的に無視するなど
介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）	食事や水分を与えない、おむつの交換をしない、病気の兆候があるにもかかわらず診察を受けさせない、暖房等の適切な環境をつくらせないなど
経済的虐待	日常的に必要な金銭を渡さない・使わせない、年金や預貯金を本人の意志・利益に反して使用するなど
性的虐待	排泄の失敗に対して懲罰的に下半身を裸にして放置する、性器への接触、セックスを強要するなど

Panasonic
ideas for life
補聴器
ご相談は当店まで
ご自宅へ訪問も致します
気軽に使えるポケット型

おんわ モデルJ1シリーズ　希望小売価格 79,000円～
一般的名称：ポケット型補聴器　販売名：おんわ WH-103JJ
医療機器認証番号：220AIBZX00067000
当店はパナソニック補聴器株式会社直営のご相談窓口です
大阪駅前第４ビル 1F
プラザ大阪
TEL：06-6344-3348
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第４ビル 1F
●JR 線「大阪駅」より徒歩約６分
●阪急・阪神・地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約４～９分
「京橋交番前」交差点の角
プラザ京橋
TEL：06-6353-3348
〒534-0024 大阪府大阪市都島区東野田町 1-6-16 ワタヤ・コスモスビル 3F
●JR 線「京橋駅」より徒歩約5分●京阪電鉄「京橋駅」片町口からすぐ
●地下鉄・長堀鶴見緑地線「京橋駅」より徒歩約３分
営業時間：午前10時～午後５時30分　定休日：日・祝日
詳しくは パナソニック補聴器 検索
補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。
耳の健康を保つため、定期的な耳鼻咽喉科の受診をおすすめします。

NOMURA　野村證券梅田支店　開催セミナー
【参加無料】どなたでもご参加いただけます。
お電話でご予約のうえご来場ください。
いま話題の「マイライフノート」セミナー
執筆編者が講師としてお話いたします。
60歳から知っておきたい
老後のいろいろ

野村證券 信託銀行事業部編
日本経済新聞出版
2013. 3.13(水)　PM 2:00 ～ 3:30
定員 100名
講師：マイライフノート執筆・編集責任者
野村證券 信託銀行・保険事業部　課長 石田 充宏
会場：野村證券梅田支店 7階ホール

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行う場合があります。

お申し込みは 0120-00-8657 野村コールセンター
【平日 8:40～20:00】【土日 9:00～17:00】(祝日・年末年始は除く)
＊ご利用の際には電話番号をお間違えのないようにご注意ください。
セミナーに関するお問い合わせは 野村證券株式会社 梅田支店
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4（大阪富国生命ビル）
TEL 06-6313-3431